

人間性に富む社会を (※1)

中第 39 回卒 久保田 誠 (※2)



我が母校も創立 90 周年を迎え、輝かしい歴史と伝統の跡をたずねそこから現代と将来の途を読みとり次の道を求めることは、意義深く敬意と御祝いを申し上げます。

私達は昭和 11 年に入学、16 年 3 月に第 39 回卒業生となりました。この時代は国際連盟を脱退するなど世界的な信用を失墜し、内には二・二六事件が起り、世情騒然たるなかでつぎつぎと準戦体制の内外政策がとられ、さらに日華事変がおこり、三国同盟が締結、太平洋戦争の開始へと変動し、国家の教育に対する要求と統制は極度に押し進められた。

我々は戦時教育一色にぬりつぶされた中で教育を受けたこととなります。同期生 129 名の内、尊き人材 48 名の死亡者を数える事は本当に悔まれてならない。

さて 21 世紀は科学文明の精華を誇る時代となるであろうが、一面人間尊重の精神文化を基調とした人間性に富む、真の新しい社会の創造は期待できるものと信じ、母校の将来に向いつつ益々発展されることを念願して止みません。

(元中村一小校長)

(※1) 創立 90 周年記念誌 『紅の旗』 〈 1988(昭和 63)年 9 月 2 日発行)

「我等 OB も頑張っているぞ！」より。

(※2) 旧姓佐藤。飯豊出身。昭和 16 (1941) 年卒。師範。

(転記&※脚注 村山)